

## ◎移動しやすいまちづくり基本計画 成果指標(H27~R4)

成果指標等		現状		実績							目標	担当課			
		基準年度	基準値	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末 中間確認	R1年度末	R2年度末	R3年度末			R4年度末 最終確認		
指標①	市民の移動における自動車分担率を現状69.3%から0.1%減少させます	H23年度	69.3%	69.3%	71.0%	-	-	-	-	-	次回調査年	69.2%	都市交通政策課		
指標②	移動しやすいまちだと思える市民評価を向上させます	H25年度	5.5%	5.5%	-	4.5%	-	-	-	-	次回調査年	5.5%以上	都市交通政策課		
指標③	1日当り平均歩数を男女共に全国平均以上にします	H23年度	6,721歩(男) 6,151歩(女)	-	-	7,890歩	-	-	-	-	-	全国平均以上	健康増進課		
参考指標④	自転車分担率を向上させます(自転車分担率の向上検証)	H23年度	9.1%	9.1%	7.5%	-	-	-	-	-	次回調査年	9.1%以上	土木総務課 (都市交通政策課)		
参考指標⑤	交通事故件数を減らします	H26年度	2,573件	2,184件	1,922件	1,798件	1,651件	1,485件	-	-	-	2,573件以下	市民生活課		
参考指標⑥	中心商店街の歩行者数を向上させます	H25年度	59,233人(古町) 39,061人(万代) 24,986人(駅) 123,280人(合計)	54,459人 36,740人 26,631人 117,830人	55,916人 35,584人 28,646人 120,146人	50,816人 48,079人 30,596人 129,491人	45,828人 42,767人 28,447人 117,042人	39,404人 36,986人 23,364人 99,754人	-	-	0人	0人	0人	59,233人以上 39,061人以上 24,986人以上 123,280人以上	新潟市商店街連盟 (都市交通政策課)

※事故件数に関しては、年度ではなく、年単位。

## ◎R4年度最終確認に向けた現状と課題等

- ・H27年4月に策定した本基本計画が有効に効果を発揮できているかを確認するため、成果目標(数値目標)を掲げている。
- ・R4年度は最終確認年度となることから、現時点での指標の達成状況を定量的に把握し、成果指標の評価、見直しの必要性を判断するもの。

成果指標等		現状		実績	R1年度末評価	最終確認に向けた課題等	担当課
		基準年度	基準値	R1年度			
指標①	市民の移動における自動車分担率を現状69.3%から0.1%減少させます	H23年度	69.3%	-	・H28年度に都市交通特性調査を実施 ・目標値より1.8%増加(71.0%)	目標値に達していないため、関係者とともに、これまで以上に公共交通のサービスを強化し、過度な財政負担を強いることなく、サービスを維持するための利用促進を推進していく。	都市交通政策課
指標②	移動しやすいまちだと思える市民評価を向上させます	H25年度	5.5%	-	・H29年度に市政世論調査を実施 ・目標値より1.0%低下(4.5%)	目標値に達していないため、関係者とともに、これまで以上に自転車通行帯の整備のほか、公共交通の利便性向上や歩道のバリアフリー化を推進していく。	都市交通政策課
指標③	1日当り平均歩数を男女共に全国平均以上にします	H23年度	6,721歩(男) 6,151歩(女)	-	平成29年度新潟市歩数調査の結果、20-64歳の平均歩数は男女とも、平成29年国民健康・栄養調査結果と比較し、全国平均(男:7,636歩、女:6,657歩)以上となった。	調査結果より、全国平均(男:7,636歩、女:6,657歩)以上の歩数となった。しかし、健康日本21(第2次)で示されている目標(男:9,000歩、女:8,500歩)は達成しておらず、引き続き市民の歩数を増加させる取り組みを実施する。特に働き盛り世代の歩数を増加させる取り組みを推進していく。	健康増進課
参考指標④	自転車分担率を向上させます(自転車分担率の向上検証)	H23年度	9.1%	-	・H28年度に都市交通特性調査を実施 ・目標値より1.6%低下(7.5%)	目標値の達成に向けて、引き続き、新潟市自転車利用環境計画に基づく走行空間整備等のハード面対策を推進するとともに、自転車利用環境向上につながるソフト面対策を推進していく。	土木総務課 (都市交通政策課)
参考指標⑤	交通事故件数を減らします	H26年度	2,573件	1,485件	令和元年の交通事故発生状況については、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少し、一定の評価が見られた。	交通事故の総件数は年々減少し、令和元年末時点では目標値を達成している。しかし、全事故に占める高齢者加害事故の割合は増加傾向にあるほか、令和元年の死亡事故被害者は全て高齢者であり、加害・被害ともに高齢者対策を推進していく。	市民生活課
参考指標⑥	中心商店街の歩行者数を向上させます	H25年度	59,233人(古町) 39,061人(万代) 24,986人(駅) 123,280人(合計)	39,404人 36,986人 23,364人 99,754人	・令和元年10月19日に新潟市商店街連盟が歩行者通行量調査を実施 ・現時点では目標値より23,526人下回っている	令和元年度調査では目標値を大きく下回ったものの、調査日が悪天候であったことも要因とされる。近年、歩行者交通量は減少傾向にあることから、都心地区の魅力創出に向けた施策の具体化や、多様な交通アクセス手段の確保に向けた取り組みを推進していく。	新潟市商店街連盟 (都市交通政策課)